

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	【ネパール中西部における妊産婦・新生児の健康状態の改善】 医療サービスを提供する環境の向上及び住民の健康に対する意識が改善され、妊産婦・新生児の健康状態が改善される。
(2) 事業内容	<p>(イ) お産センターの建設</p> <p>6月11日にお産センターを施工する4業者(2業者が1VDCずつ、2業者が2VDCずつ担当)と契約を締結した。10月末現在、6VDCのうち最も進捗が進んでいるVDCでは外壁となる石の積み上げ作業が屋根の高さのところまで終わり、お産センター内に建設するトイレからの排水を処理する浄化槽の掘削作業も行なっている。別の2VDCではドア枠・窓枠の設置を終え、外壁の積み上げ作業中である。残りの3VDCは基礎部分の工事がほぼ終了しており、外壁の積み上げ作業に着手している。石、セメント、砂利などの主要な建設資材の建設サイトへの運搬は完了しており、今後は内装に必要なタイル、及びシンクや便器などの資材の運搬を順次行なう。サイトごとに建設作業の進捗に差があり、当初の計画よりも遅れが出ているVDCもあるものの、いずれも事業期間内に建設を終えられる見込みである。</p> <p>(ロ) 公共保健機関のキャパシティビルディング</p> <p>群リプロダクティブヘルスケア委員会を対象としたリーダーシップ研修を9月14、15日の2日間にわたり行ない、26名が参加した。研修においては、この先1年間のジャジャルコット郡全体のリプロダクティブヘルス改善活動計画を設定し、委員会が責任を持ってこの計画を実行していくことに合意した。</p> <p>また、VDCレベル保健医療施設マネジメント委員会を対象としたリーダーシップ研修を、ブンマVDCで8月12日から14日、アルチャニVDCで8月24日から26日、ジャプラVDCで9月7日から9日にかけて実施した。建設中のお産センターの管理方法のほか、既存の保健医療施設やそこに勤務するスタッフの管理方法、使用状況に関するモニタリングの頻度や質の強化、提供する医療サービスを向上させるための手法などについて伝えた。研修の最後には、各VDCで2年から3年の間に実施する活動計画が参加者から提出された。残りの事業期間中は、この活動計画の実施状況に関するフォローアップを行なっていく。</p> <p>(ハ) 望まない妊娠のリスク軽減・出産介助スキル向上</p> <p>インプラント研修を7月20日から27日にかけて行なった。ジャジャルコット郡保健事務所と協議をした上で、郡内の全ての医療施設に勤務する医療従事者の中から、特にインプラ</p>

ントによる避妊の需要が高い地域に勤めており、かつ継続的にインプラントサービスを地域住民に提供する意欲の高い6名の人材を選出した。選出した医療従事者全員が研修を修了し、インプラントの装着・脱着に必要な技能を習得した。

また、出産介助研修を7月27日から9月24日にかけて極西部カイラリ郡ダンガリにある国立研修センターにて行なった。受講者の選考の際には、事業対象地に長期間にわたって貢献できる人材を選ぶことを念頭に置いて本事業スタッフと郡保健事務所が調整を行ない、最終的にはジャジャルコット郡保健事務所が選出した。

12名の受講者を選出したが、うち1名は直前になり参加を辞退したため、11名を対象に研修を実施した。受講者の内訳は、お産センターを建設するVDCにある保健医療施設に勤務している医療従事者6名、及びその近隣VDCの保健医療施設に勤務する医療従事者5名であった。

(二) 家族計画の普及研修・啓発活動

10月13日から16日にかけて、家族計画普及研修を実施した。受講者は、ネパール中西部の郡を統括するスルケトリージョンの保健局スタッフ1名、ジャジャルコット郡保健事務所スタッフ8名、ジャジャルコット郡内の4~5つの保健医療施設を統括する各プライマリーヘルスケアセンター及びヘルスポスト（保健所）のスタッフ6名の計15名であった。

研修の講師は保健省家族計画局に所属するスタッフ並びに医師が務め、ジャジャルコット郡の避妊率の目標指数を定めた上で、その目標値を達成するための活動計画を立てた。ネパール保健・人口省の規定により、この研修の講師は保健省家族計画局のスタッフ及び医師に限られていたが、日程の調整がなかなかつかず、当初は7月中に実施を予定していた研修が10月までずれ込んだ。日程調整を繰り返す中でこの分野に関するコンサルタントを講師として招くことも検討したが、保健・人口省からの許可が得られず断念した。

(ホ) マスキャンペーン

ネパール保健・人口省は本年度から9月18日を家族計画デーと定めている。ジャジャルコット郡内で家族計画の周知徹底を図るため、この日に家族計画の方法や概念についてアナウンスしながら町中を歩くラリー活動を行なった。

9月から郡内で家族計画やお産センターで受けられるサービス内容を盛り込んだラジオの放送を開始した。事業期間中、約900回放送される予定である。

(3) 達成された効果	・事業開始前、お産センターを建設している VDC の既存の医療施設には出産介助師がおらず、お産に対応できない状態であった。本事業の開始に伴い、各 VDC に出産介助師が雇用されることになり、各施設に1名ずつ、計6名の出産介助師が配属された。この出産介助師は本事業の出産介助研修を受講し、無事に全課程を修了した。まだお産センターが完成しておらず、お産そのものには対応できていないが、産前健診サービスは既に始めている。
(4) 今後の見通し	・お産センター建設については、建設地により進捗の差はあるものの、期間内に完成する見込みである。 ・お産センターに設置する備品及びソーラーシステムの調達については予定通りに進捗しており、期間内に完了する見込みである。 ・家族計画の普及研修については、上述の通り講師の日程調整に時間を要したために予定より大幅に遅れている。残りの事業期間内でジャジャルコット郡内のすべての VDC の簡易保健所スタッフ、女性コミュニティボランティア、保健医療施設管理委員会メンバーへの研修を行わなければならないため、スタッフを総動員して11月以降、順次研修を行っていく予定である。